

国連NGO横浜国際人権センター・うずしおランチ T-over人権教育研究所・人権こども塾ニュース

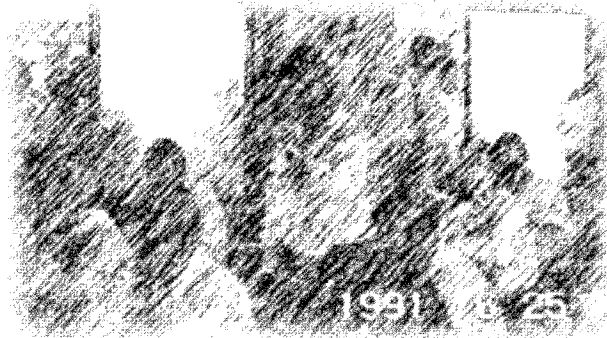
生涯の絆を育む板野中学校の人権・部落問題学習② ～「親友」から「心友」へ～

部落の出身を語ったJ・K、そしてその思いをつないだY・Iの言葉は、仲間一人一人の思いを引き出していきました。生徒を変えるのは、信頼する仲間の言葉であることを実感する語り合いが展開されていきます。

部落出身を語ったJ・Kに、思いを伝えるM・Sの語り

今、J・Kさんが2人だけと言ったけど、ここにいる3-Bのみんなの前や多くの先生方の前で言えたんだから、信じてくれたと思います。

私も部落に生まれたんだけど、恥ずかしいと思ったこと一度も…なかったけど…ほなけど言うて、差別されたりいやじゃと思うてずっと言えなかったけど、このクラスの子だったら、信じてことができるからこのことが言える。



「心友」という言葉を伝えたS・Eの語り

J・KさんとM・Sさんが言ってくれたけど、これから今日打ち明けたことを後悔するようだったら、私やはいったい今まで何をしてきたんだと思ってくれていいと思います。私も部落ということを言うた子を変な目で見ようなんて1つも思っていないし、見たらごっつい自分があほらしいなってくると思います。

それで、この前読んだ本で心に残っていることなんだけど、一応世間で言う「親友」とは、「親しい友」と書いて何でも話し合える友だちということだけど、本当の「親友」とは、「心の友」と書いて自分の恥ずかしいところでも、何から何まで端から端まで話し合える友だちを「心友」と言うそうです。もそんな「心友」をたくさんつくりたいです。



仲間を信じ、本心をさらけ出すT・Kの語り

私も部落出身ですが、このクラスのみんなだったらこのことが言えると思います。この前友だちに自分が部落出身ということを打ち明けたら…「ほんなん関係ないでえ」と言ってくれました…。私は、本当の友だちがいたんだということがわかったのでよかったなあと思いました。

部落出身を綴ったT・Kの決意にふれたK・Kの語り

私はさっきT・Kさんの（部落出身を綴った）学習プリントを見せてもらったんだけど、最初見せてと言った時、いやじゃと言っていたけど、K・Kさんだったら信頼できるけんて言うて見せてくれたんです。私やが信頼できる友だちになっていかないかんと思います。

心友であるT・Kへの信頼に応えるM・Oの語り

私もT・Kさんに打ち明けてもらったんだけど…。

信頼してくれていると言ってくれたんだけど、まだまだ力になれていない…。もっと勉強して、T・Kさんの力になっていくことのできる人間になりたいです。

涙を振り払うように、心を込めて語り合う姿に、級友は、この学習の意味と重要性を噛みしめていきます

本気の人権学習は、——「すべてを変える」 うずしおランチ共同代表 森口 健司

